

# 文芸 さくらがわ

## 俳句

【天和俳句愛好会】  
終いの湯に五衰を癒す十三夜

古橋 益子

健やかに米寿を迎える敬老日

安達 幸子

天界に一縷の道や鳥渡る

鈴木 つぎ

妙齢の過去は知らざり敬老日

岩渕 のぶ子

離農して農具の眠る秋日差し

田中 はつひ

老斑のあらわな素顔秋わびし

皆川 和子

大夕立去りて加波野に虹二重

鈴木 登美子

百三才天寿全ふ盆の月

田代 てい子

少子化に夏の祭りの音さみし

代田 とし

## 短歌

【花の室 木崎集】  
ひと抱への茅花きらきら風に揺れ庭にたちま  
ち高原の風 塚田 沙玲

トツ トカテン蔵の瓦を替える音一年待ちの  
震災復興 石浜 今日子

命日の小菊の群れに囲まれて母の好みのまん  
じゅう食ぶ 大久保 まさ子

何気ない仕草や味が母に似て鏡の中にわが齡  
見る 櫻井 ハル子

腕時計つけたる日なき一生なり君と大地に刻  
みし足跡 塩谷 明子

カーテンを開く音にもさとして小綬鶏家族  
たまゆら隠る 鈴木 とみ

十五夜の団子は手づくり大きくてあとで輪に  
切り焼いていただく 塚本 幸子

真夏日の運動会の予行終え真赤な顔の金太郎  
たち 西岡 和子

「跡継ぐは俺しかあない」と吐き捨てて温室  
に入るまつ赤なトマト 野村 幸男

亡き夫のひそとわが身に寄り添ふ日小さな花  
もつ秋草摘みぬ 深谷 快子

【岩瀬短歌会】  
就職の内定もらひし孫より頑張ったよと笑顔  
のメール 岡野 禮子

あじさいの花束抱えて来たる友中学時代の笑  
顔のままに 浜野和操

平成は平靜なのか変革期人口までが右肩下  
り 泉 三郎

ふくらみし蕾のうぶ毛光りつつ肌寒き風に揺  
るる木蓮 鈴木 美津子

仰ぎ見る高き梢のさくら花風に揺れつつ散り  
いそぐなり 大関 にち子

賞状の少し重きを持ちかへて葉桜のかげ選り  
つつ歩む 五月女 静江

父の日のパジャマに添えて嫁よりのバラ一輪  
は気高く香る 渡辺 しな子

沙羅会を催してみよと促せど夫は人の真ん中  
が好き 小林 美瑛子

【岩瀬短歌会】  
静かなる椎の木立に沁みとほる姫春蟬の季惜  
しむ声 大関 節子

安値でも荒らすよりはと転作の飼料米作る稲  
穂垂れ初む 安達 悦子

たそがれにその涼風に逢いたくて歩む野道の  
夕映えの中 安達 すみ子

夕闇に真白に浮かぶくちなしの甘き香りは誰  
を待つらん 角田 玉枝

イケメンの人力車に乗り娘と二人自ず若やく  
小樽市街を 坪井 ゆき子

出田町の埠頭の夜景のきらめきを共とし友と  
の会食楽しむ 長谷川 玲子

雲うすれ高鳴く鳥のおちこちに曇き一日はた  
そがれにつつ 石川 喜代

**広報 さくらがわ 有料広告募集!**

広告を掲載する方の利便性をよくするため  
4月号からサイズを大きくしました。  
是非、ご利用ください。

- サイズ 1 枠 45mm×85mm、2 枠 45mm×172mm
- 掲載料 1 枠 10,000 円、2 枠 20,000 円  
(月額) ※連続掲載で割引制度があります。

■問合先 秘書広報課 ☎58-5111-75-3111、内線1268

あなたの描く想像を現実により綺麗に より美しく  
あなたと感動を繋ぐ存在でありたい。

株式会社 **デジタル印刷**

TEL.0296-54-2626(代)  
FAX.0296-54-2724